水道料金が高額な団体・安価な団体の傾向分析

資料１

● 口径20㎜・1か月20㎥使用時の水道料金　上位・下位5団体（R8.第2回審議会資料4より）

	料金順位	団体名	水道料金 ※1	R6年度データ 給水密度 ※2 （人／㎢）	改定時期 ※3	備考
上位	1	寄居町	9,295 円	553.62	令和7年4月	
	2	秩父広域 市町村圏組合	6,028 円	235.19	令和8年4月	
	3	ときがわ町	5,038 円	226.04	令和4年10月	料金が高額になっている理由は、 直近で改定を行っているためと考えられる
	4	春日部市	4,580 円	3,474.09	2段階：令和8年10月 令和10年4月	
	5	川口市	4,543 円	9,813.40	令和3年1月 令和8年4月	
下位	52	草加市	2,475 円	9,182.92	平成4年4月	
	53	鳩山町	2,398 円	498.00	平成9年6月	料金が安価になっている理由は、 長期間改定を行っていないためと考えられる
	54	富士見市	2,332 円	5,728.83	平成6年5月	
	55	川越市	2,288 円	3,231.22	平成9年11月	
	56	和光市	2,222 円	8,141.83	令和6年7月	配水管1kmあたりの給水人口が多いため、効率がよいと考えられる

＊給水密度は令和6年度水道統計資料より

※１　水道料金については、今後の改定予定内容も反映しています。

※２　給水密度については、高いほうが配水管維持事業等の効率がよくなるため、水道料金が安い傾向が見られます。

※３　改定時期については、直近であるほど昨今の物価高騰等の状況を反映しているため、水道料金が高い傾向が見られます。